



足立区議会だより

発行/足立区議会
https://www.gikai-adachi.jp No. 327

第4回
定例会



【タイトル】
家では動画を見たがる子どもが、図書館だと「よんでよんで」。うん、いっぱい読もう。
足立区議会写真部 土屋 のりこ 撮影

区長提出議案を可決

令和6年度足立区一般会計補正予算(第4号)

小・中学校施設の保全事業、コミュニティバスはるかぜ車両等購入費補助金交付事業等を減額する一方、区有財産取得・活用事務、新型コロナウイルスワクチン接種事業等を増額するものです。

ほか

議員提出議案を可決

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続及び制度の恒久化を求める意見書

聞こえの支援を必要とする人への積極的な支援を求める意見書

令和6年第4回 定例会のあらまし

第4回定例会は、12月2日から12月20日までの19日間で開会しました。

本会議初日の区長あいさつの後、各会派の代表議員が3日間にわたり区政全般について質問を行いました。

今定例会では、令和6年度足立区一般会計補正予算(第4号)や足立区災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例等、27件の区長提出議案について、すべて原案のとおり可決したほか、議員提出議案2件を全会一致で可決しました。

請願・陳情については、1件を採択し、32件を継続審査としました。

寄附行為の禁止

議員(候補者等を含む)からの寄附は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

●主な内容●●●●●

- 2面 ● 区政を問う (各会派代表・一般質問)
- 6面 ● 議決結果 (区長提出議案)
- 議決結果 (議員提出議案)
- みなさんからの請願・陳情
- 7面 ● 意見の分かれた議案
- 委員会活動
- 議員研修会を行いました
- 命を守るために AEDを設置
- 令和6年の行政視察 受け入れ状況
- 8面 ● 議会傍聴のバリアフリー化 に取り組んでいます
- 声の区議会だよりを はじめます
- 足立区議会議員写真部 作品展を開催!
- 会派等一覧

問

令和6年12月2日、3日、4日に開会した本会議で代表・一般質問を行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、区政全般について、各会派を代表して6名の議員が代表質問を行い、各会派6名の議員が一般質問を行いました。以下、その要旨を掲載します。

なお、2次元バーコードから各質問者の録画映像をご覧いただけます。

足立区議会自由民主党

心から安心を実感でき、

住みやすいまち足立区を!!

自由民主党 かねだ 正 議員



いつかは訪れる大災害に備えて

【問】都が見直した首都直下地震等による被害想定を受け、区は大地震に対する備えを強化してきたが、能登半島地震を教訓に、令和7年度の予算編成では大規模災害への対策を更に強化すべきと思うがどうか。

【区長】スピード感を持って施策を再編していくために、災害対策課の係編成をより実効性のある形へと再編する。特に、災害が長期化した場合に最重要となる避難所運営の充実については、トイレの整備計画を担当する係長を配置し、「トイレ」「温かい食事」「ベッド」を充実させることに向けてスピード感を持って取り組んでいく。

また、福祉避難所として空きベッドの活用に向けた特別な特別養護老人ホーム等と協定を締結する等、具体的な取り組みに着手していく。

魅力ある西新井駅へとするために

【問】西新井駅西口において、交通結節点となる駅前交通広場の整備が進んでいるが、用地取得の進捗状況はどうか。

また、東武鉄道の駅ビル、南街区の再開発の進捗状況を伺う。
【都市建設】令和6年11月末現在、10画地中3画地の用地取得が終了している。
東武鉄道の駅ビルについては、

計画がまとまっていないと聞いており、引き続き早期整備に向けて東武鉄道に働きかけていく。

南街区の再開発は、準備組合と協議を進めており、地権者の意向を尊重しながら事業成立に向けて取り組んでいく。

苦境に立つ区内建設業者を支えよ

【問】近年、建設業界は建設資材の高騰や人件費の上昇、深刻な人手不足等により、厳しい経営状況が続いている。公共事業を円滑に進めていくために、区内建設業者に対して何か対策を講ずる考えがあるのか伺う。

【総務】賃金・物価水準の変動に伴うインフレスライド条項の適切な適用を継続していく。更に、着工資金確保のため、工事金額の一定割合を前払いする制度を拡充することで資金面での支援の強化を検討している。



経営改善努力を後押しするために

【問】設備導入や店舗改修等を通じて経営改善を図る企業に支援を行う小規模事業者等経営改善補助金について、我が党は令

和7年度以降の拡充を提案してきたが、令和6年度の申請状況から見えてきた課題と令和7年度に向けた方針を伺う。

【産業経済】課題の一つとして補助対象設備や工事の発注先に区内事業者を選択する割合が少ないことが挙げられる。令和7年度は区内経済活性化を図るため、区内事業者を選択する場合、補助率と補助上限額を優遇する等の差別化を図っていく。

【問】現在、足立区では学校や保育園における医療的ケア児に対する医療的ケアを、たん吸引等の4種のケアに限定しているが、今後はケアのメニューを拡大すべきではないか。

【教育長】まずは令和7年度の実施状況と安全体制を検証しながら、令和8年度に対象ケアを拡大できるよう検討していく。

【問】区内で発生しているバス路線の廃止や減便等の状況を踏まえ、現在策定中の地域公共交通計画の中で交通不便解消をどのように位置づけ、取り組みを進めていくのか伺う。

【交通対策】地域公共交通計画では、持続可能な移動手段の確保に向け、区・交通事業者・区

民等が協働して取り組むだけでなく、将来にわたる多様な担い手の確保に向けた土台づくりを目標に位置づける予定である。

他地域と比較して公共交通機関にアクセスが困難な地域には、地域内交通導入サポート制度の活用により、サービスレベルを底上げするよう取り組みを継続していく考えである。

【問】逆境を乗り越える力を得るために、それぞれの発達段階において困難に立ち向かい、その壁を乗り越えるための一助となる。

子どもたちのレジリエンスを含めた非認知能力の向上には、家庭と就学前施設で連携することが重要であるが、保育施設での体験活動の拡大等、具体的な事業を行うべきではないか。

【子ども】令和7年度から就学前施設一園あたり最大150万円を補助し、様々な体験活動に取り組む「どうきよう すくわくプログラム」を本格実施する予定である。従来の絵本や音楽活動の推進に加え、この取り組みをきっかけに就学前施設での体験や経験を家庭につなげる仕組みを構築し、子どもの非認知能力の更なる向上を図っていく。

超少子社会に対する政策と出生率向上をめざした対応

自由民主党 白石正輝 議員



【問】令和5年に日本の人口は87万人減少した。人口減少によって「国力」が落ち込んでしま

が、区の考えを伺う。
また、生産年齢人口の減少によって税収が減少し、国民皆保険制度を含めた社会保障制度も

立ち行かなくなるが、どのように考えているのか。

【政策経営】生産年齢人口の減少は、「国力」すなわち、政治力・経済力・科学技術力等、国が持つ総合的な力の低下や、税収の減少、社会保障制度の持続可能性を揺るがす課題であると認識している。

【問】区は過去に、区内の出生率の目標を1.4にすると言っていたが、令和4年は0.9となっていました。区は今後、出生率の目標をいくつにして区政運営を行っていくのか伺う。

【政策経営】令和6年2月に公表した足立区人口推計では、将来の合計特殊出生率を、中位推計で令和4年の1.06と同等で推移するものとしているが、今後は高位推計の1.3への回復を目指していく。

【問】第三子には保育園入園における指数を加点し、無条件で入園できるようにすると共に、第三子以降を出産した際にはよ

地域内交通をより充実させ交通空白地域を解消せよ

自由民主党 杉本ゆう 議員



【問】運賃収入を主体とした公共交通は、赤字の場合は減便や廃止が行われ、更なる利用者減少につながってしまう。

採算性のみではなく、「公共交通は行政が支える」という姿勢が大前提として必要であると思うが、将来的な展望も含め、

【問】持続可能な公共交通を目指して

区の考えを伺う。
【交通対策】自治体には、採算性が低く民間事業者のみでは公共交通が脆弱な地域を補完する役割があると認識しているが、利便性と採算性のバランスをとることも重要であると考える。プンブン号実証実験の結果及び、はるかぜ協働事業や足タク、

り高額な出産祝い金にする等、メリハリのある施策を行えば第三子を出産しようと思ってもらえるのではないかと。

【政策経営】現在実施している指数の加点以上の配慮は、保育園の定員との兼ね合いで困難ではあるが、経済的な負担が大きいとされる多子世帯への支援は、安心して子育てができる環境づくりを推進する上で必要なことであると認識している。

代表・一般質問(要旨)



本会議の録画映像を
区議会ホームページでご覧いただけます。
<https://www.gikai-adachi.jp>

区政を

地域内交通導入サポート制度の状況を検証し、今後の区の公共交通の在り方を判断していく。

平等な交通環境を整えるために

【問】地域内交通導入サポート制度の利用料は足タク500円、チョイソコ200円の予定であり、利用料に格差が生じてしまう。区は、地域の個人・事業者からの出資を予定しているが、交通網整備のための基金を創設し、将来的にどの地域の事業においても利用料を平準化すべきではないか。

【交通対策】利便性の異なる交通手段の利用料平準化や基金の創設は考えていないが、今後、財政負担の増加も予想されるため、寄附等により地域交通を支えていけるよう、関係部署と連携しながら検討していく。

【問】常東地区で計画されている新たな交通手段の利便性向上を

足立区議会公明党

更なる防犯・災害対策を！ 障がい者の活躍へ支援を！

公明党 小泉 ひろし 議員



物価高騰から区民の生活を守れ

【問】政府は、総合経済対策において物価高騰対策を最優先とし、ガソリンや電気・ガス料金への支援を検討している。区も以前実施したような、国の臨時特別給付金対象外の世帯所得200万円以下である世帯を対象とした給付を考えているのか伺う。

【福祉】区としては、国の施策を注視しつつ、特に支援が必要な低所得世帯への施策について検討していく。

るデマンド交通「チョイソコ」の実証実験は、予約方法がアプリと電話のみとなっている。アプリを使用できない場合でも利用できるよう、地域の商店やコンビニ等に協力を依頼し、端末を設置することは可能か伺う。

【交通対策】端末設置は初期費用や維持費用が掛かることから実証実験当初からの設置は困難だが、利用者が多い施設への設置は有効であると考えており、端末導入の経費や利用件数等を見定めながら検討していく。



事業者支援で区内経済活性化を

【問】人手不足や人材の定着・育成に苦慮する中小事業者へ支援を拡充すべきではないか。

【産業経済】人手不足に関しては、令和6年度より開始した中小企業人材採用支援助成金について補助率や人材紹介費用の補助上限額の拡充を検討していく。人材の定着・育成に関する支援については、専門相談員によるコンサルティング支援対象企業数の増や、資格取得促進を目

的として研修費補助金の対象範囲や補助上限額の拡充等を図り、区内中小企業を支援していく。

強盗や詐欺から高齢者を守れ

【問】昨今、特殊詐欺や強盗傷害等の事件が多発しており、高齢者から不安の声が多くある。区は、区内4警察署と共同選定した個人向け防犯設備の設置及び物品購入等に対する補助制度を実施しており、対象製品を48種に拡大したが、令和6年10月に終了した。区民の安全・安心のため、今後も当該事業を継続実施すべきではないか。

【危機管理】申請状況や刑法犯認知件数、体感治安の変化等を総合的に分析し、事業の見直しを図りつつ、令和7年度以降も実施する方向で検討する。

【問】区は障がい者スポーツ推進のため、用具購入や施設使用料等を対象にした障がい者スポーツ活動助成金を交付しているが、実施期間が3年の計画である。今後も当該制度の期間を限定せず継続すべきではないか。

また、増額についても検討すべきではないか。

地域・障がい者がスポーツに親しむ機会の拡大及び活動の継続化を支援するため、令和8年度以降の事業継続について検討すると共に、申請書の内容を精査し、助成額の増額が必要な場合は対応していく。

【問】障がい者がICT技術を活用し、必要なサポートを受けながら在宅で働けるような雇用施策を進めるべきではないか。

また、パソコンを活用したス

キルアップによる仕事の紹介や技術指導を障がい者が受けることができれば就業意欲の向上にもつながるため、今後は実績のある民間事業者のノウハウも活用しながら在宅で対応できる業務の創出やメリット等を企業にも周知し、協力を呼び掛けるべきと思うがどうか。

【福祉】障がい特性によっては孤立感や自主管理の困難さ等の課題があるため、公益財団法人東京しごと財団の取り組みや在宅勤務の事例・実例を研究しながら、区としての取り組みを検討していく。

また、在宅就労に向けたパソコンの活用は、民間事業所や在宅就労支援団体が多くのノウハウを持っているため、求職者の適正を把握し、こうした団体を活用しながら必要な支援につなぐことでスキルアップが図られるよう取り組んでいく。

在宅業務の創出については、先行企業での取り組みや障がい者のテレワーク事例等を企業に周知して協力を求めていく。

【問】区は、生ごみの削減を目指す。燃やすごみの量やコストの削減につながる生ごみ処理機及びコンポスト化容器の購入費補助制度を実施している。反響が大きく申請数も多い当該事業は、補助上限額を増額した上で、令和7年度も継続実施すべきと思うがどうか。

【環境】生ごみ処理機はごみの減量に有効であることから、令和7年度も補助事業を継続したいと考えている。

また、補助上限額の増額につ

いては、令和7年度の当初予算編成の中で検討していく。



子どもの未来に向けた支援を

【問】学用品等の支払いに困難

西部地区の諸課題に対し、 地域住民の声を反映せよ

公明党 たがた 直昭 議員



【問】旧鹿浜西小学校跡地に開業予定の商業施設から車両が出発する際は、少しでも生活道路に流入しないよう、動線確保と歩行者の安全確保が必要である。

鹿浜いきいき館入口付近から環状七号線方面に向かう道路は、施設開業後に交通量の増加が見込まれるため、子どもの安全を心配する声があり、鹿浜いきいき館側だけでなく反対側にもガードレールを設置し、歩行者の安全確保を検討すべきではないか。

【道路公園】区と警察でガードレール等の追加設置や速度抑制対策として視覚的な狭さく、路面標示による注意喚起等、あらゆる安全対策を協議している。これらを商業施設開業までの道路整備に盛り込んでいく。

若者にも優しい「足タク」へ

【問】入谷・鹿浜地区で実証実験中の「足タク」において、区

を抱える世帯に対して費用の一部を支援する就学援助の認定基準額の算定倍率を、令和7年度当初から生活保護基準の1.3倍に改定し、就学援助対象者を拡大すべきと強く要望するがどうか。

【教育長】他区の状況を踏まえ、当区でも1.3倍に引き上げる検討を行い、就学援助の対象者拡大に向け、令和7年度当初予算に約4千万円の増額を盛り込む方向で準備を進めている。

ため、乗降スポットの追加等、事業の見直しを図りながら本格運行の実施に向けて取り組んできた。今後は若者も利用しやすいよう、更なる対策も検討すべきと考えるがどうか。

【交通対策】現在、若者は妊婦や障がいのある人のみを割引対象にしているが、本格運行に移行する際は中学生以下が同乗した場合、一般登録者の保護者も割引運賃を適用する等、子育て世代を中心に利用しやすい制度への見直しを検討していく。



【問】オウム真理教の教団組織は、未だ全国で信者を勧誘し、

各地域で活動している。滋賀県甲賀市での視察において、甲賀市オウム対策住民協議会の会長から「足立区と連携しながら可能な限り多くの情報が欲しい」との要望があった。他自治体等との一層の連携・情報共有を図

区民の生命を守る

防災対策の充実を！



公明党

佐々木まさひこ 議員

立て続けに起こる災害に備えよ
【問】能登半島地方は、令和6年元日に最大震度7の地震、同年9月には豪雨災害に見舞われた。大きな災害が足立区を立て続けに襲った場合に、区民の命を最優先に守るために、準備しておくべきことは何か伺う。

【危機管理】長期的な人材確保手段や広域的な避難体制の構築、避難所運営の長期化対策等、専門家に意見を聴き、区民の命を守るために必要な事項について検討していく。

避難所環境の向上に向けて区は

【問】かつての避難所は、「不便で不潔なトイレ」「冷たい食事」「床での雑魚寝」が普通で災害時ゆえに仕方がないとされてきたが、近年は避難所・避難生活学会の医師や専門家がトイレ、キッチン、ベッドの頭文字であるTKBが大切であるとして「快適で十分な数のトイレ」「温かい食事」「簡易ベッド」の提供が必要だと提言している。このTKBの整備に向けて、区の対策状況を伺う。

【危機管理】トイレ(T)は、

災害時トイレ確保・管理計画の

りながら、解散を求めて訴え続けていくべきではないか。
【危機管理】甲賀市を含めた他自治体との一層の連携を図ると共に、情報共有を密に行いながら教団側への早期解散、撤退を求めて訴えを継続していく。

令和7年度中の策定を目指すと共に、同年度から専任係長を配置し、災害時のトイレ対策強化に努めていく。食事(K)は、災害時にキッチンカーを要請し温かい食事が提供可能となる災害協定を一般社団法人日本キッチンカー経営協議会と締結しており、引き続き協定先の拡充等、温かい食事の確保に努めていく。

【問】区は例年、足立区原爆被害者の会主催の「原爆・平和・戦争を考える展示会」について、展示作業等の支援を行っており、近年は、より多くの人に観覧してもらうためにアリオ西新井を会場として確保している。



区民の安全を優先した工事を

【問】補助第261号線拡幅工事は、内匠橋方面からビバホーム足立神明店前まで先行して整備し、その前の横断歩道に信号機を早期に設置できるように、都に要望すべきではないか。

【都市建設】内匠橋からビバホーム足立神明店前までの区間の先行整備と信号機設置が可能な検討するよう、都に要望していく。

日本共産党足立区議団

*ウェルビーイング向上は区民の声を反映して実現を！



日本共産党

小林ともよ 議員

平和を願う思いを未来へ継承せよ

【問】核兵器廃絶を目指し、核兵器禁止条約発効に尽力してきた日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞したが、同協議会所属の足立区原爆被害者の会は、会員の高齢化が進んでいる。被害者の活動を次の世代へ引き継ぐ取り組みを支援・強化すべきではないか。

【区長】区は例年、足立区原爆被害者の会主催の「原爆・平和・戦争を考える展示会」について、展示作業等の支援を行っており、近年は、より多くの人に観覧してもらうためにアリオ西新井を会場として確保している。

郷土博物館が団体から預かった様々な資料を継承するにあたり、アーカイブ化等も含めて、資料が散り散りにならないような形の支援も必要と考えている。戦争を経験した母親から体験談を聞いた自分自身が高齢となっている現実を見ると、戦争の悲惨さを次世代に継承する困難さを実感している。団体の意見を聴きながら、共に事業を継続できるように考えていく。

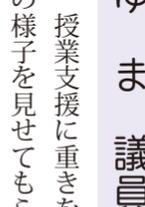
完全無償化で平等な義務教育を

【問】子育て世代からは、修学旅行費や移動教室費、副教材費

行整備と信号機設置が可能な検討するよう、都に要望していく。

若者の声が反映される区へ教師が望む学校支援拡充へ

若年者の「やりたい」を実現できる居場所づくりを



日本共産党

西の原 ゆま 議員

【問】葛飾区ではシルバー人材センターの会員による区広報紙の配布単価は10円だと聞いていたが、あだち広報の配布単価は8円で、単価の引き上げを求めるとの声が届いている。

また、区議会だよりとの併配は重量の増加により負担が増えるにも関わらず、2部配布した単価ではなく、13.3円としていることに不満の声が届いている。近隣区と差がないように配布単価を引き上げるべきではないか。

【産業経済】広報紙等の配布単価は、大きさやページ数等により違いはあるが、他区の単価を参考に増額の方向で進め、区議会だよりとの併配についても重量増による会員の負担感を考慮して増額の方向で進めていく。

【問】北千住駅東口北街区の再開発事業について、区による地域住民への周知が十分ではなく、立ち退きを希望しない住民の声を聴いていない。一旦立ち止まり、住民の声を反映した計画に見直すべきではないか。

【公共施設】北千住駅東口駅前

が抱える諸問題を解決できる計画へと見直ししながら進めている。今後とも地域住民に計画を周知すると共に、地権者全員の意見を聴きながら、住民の声を反映した計画になるよう努めていく。

いるものは、授業支援に重きを置いて実践の様子を見せてもらえることや、子どもたちの「わからない・困った」に寄り添う支援である。初任・若手教員が実際の授業の中で困難だと思っ

【問】高校生や大学生、専門学生には、卒業に必要な成績の取得や就職活動等、周りとの競争の中で生活する空間ではなく、自分がやりたいこと・表現したい作品に向き合い、失敗が許されるような自分のために時間を使える居場所(サードプレイス)を創設すべきではないか。

【未来】新規の居場所を創設することは費用面等の課題が多いことから、図書館や地域学習センター等の既存の施設も居場所の一つとして捉えている。

引き続き、当事者や若年者支援を行っている団体等の意見を参考にしながら、利用につなげていく。

【問】教科指導専門員は、教員への学習指導について「指導・助言」を中心として行っている。しかし、現場の教員が求めて

現場の教員が求める支援を

【問】区は非課税世帯、低所得者等への給付金で物価高対策を行っているが、若者世代や働き

是々非々の会(維新・参政・無所属)

加地 まさなお 議員

激動の世界情勢・国内政治

の中、区政の舵取りを問う

是々非々の会

加地 まさなお 議員

【問】区は非課税世帯、低所得者等への給付金で物価高対策を行っているが、若者世代や働き

【政策経営】区民が安心と活力

世代、中間層への経済政策はなにに等しい。それらの世代へ減税政策等を行うべきではないか。

【政策経営】区民が安心と活力

用語解説 *ウェルビーイング: 肉体的や精神的、社会的に全てが幸福で満たされ、継続していくこと

を実感できるために、手取り収入を増やす施策は有効であると認識している。現在、国で「103万円の壁」の見直し議論をしており、基礎控除額の引き上げ等が実現した場合には、若者世代や働き世代、中間層も含め幅広く減税の効果が及び、手取り収入の増加が想定される。

一方、地方税の大幅な減収が懸念されるため、制度設計等も含め、国の動向を注視していく。

不正への責任ある対策を求める

【問】レシートde商品券事業では、捨てられているレシートを拾っての応募やレシートの転売が可能となっている。不正が起らないように具体的な対策を取ることが行政の責務であるが、その対策を伺う。

【産業経済】完全な防衛策はないが、申請者自身で買物をして応募するという趣旨をわかりやすくPRし、不正な申請について申請書やホームページ等で強く注意喚起していく。

子どもたちへ経験・学びの充実を

【問】現代の子どもは「火」に触れ合い、知る機会が減っている。火への理解を深め、正しく使えるようになることは子どもの自信や忍耐強さ等も養えるため、「火育」を自然体験の授業として取り入れてみてはどうか。

【教育指導】 小学校の理科の燃焼の仕組みや家庭科の調理学習の中で、直に火を目の当たりにし、扱い方を学んでいる。

また、鋸南や日光での自然教室では、キャンプファイヤーを経験し、自然の中で学びを深めると共に児童同士の交流を深めている。引き続き、児童・生徒

の体験を大切にしたい学びの推進を図るよう学校に指導していく。



身近な人の大切さを学ぶために

【問】子どもが「人生の選択とお金」について実践的に学ぶプログラムについて、

若い世代の声や想いを政策に反映させよう

是々非々の会 富田けんたろう 議員



子どもたちの夢の実現に向けて、

【問】アダチ若者会議において、高校生世代から「コロナ禍で失われた職場体験の機会を取り戻したい」との声が複数あった。近隣自治体とも連携し、職場体験の受け入れ可能な企業等を開拓・リスト化すべきではないか。

【未来】区として具体的な体験内容の把握や受け入れ企業等の体系的な整理、集約を行っていないのが現状である。

区内高校に対して、区にどのような取り組みを望むのかをヒアリングしており、その結果を踏まえて具体的な連携や共有する項目を見定めていく。

投票したくなるきつかけづくりを

【問】先の衆議院議員選挙において、足立区は東京23区中最低の投票率であった。投票率向上を図るために、現在の無機質な投票済証のデザインについて、

仮想の家族を体験しながらお金について学ぶことで家族のありがたさに気づき、感謝につながっていると聞いた。金融リテラシーだけではなく、家族の大切さを学ぶことができる授業であると感じたが、見解を伺う。

【教育長】授業後のアンケートで「自分がもらっているお金は、お父さんやお母さんががんばって働いたお金なので、大切に使います」との感想等があり、家族の大切さについても考えさせるきっかけになったと考えている。



議員

改善の取り組みや議論を行ったことがあるのか伺う。

また、デザイン等を見直す予定はあるのか伺う。

【総務】当区では、都が作成した投票済証を使用しているが、特に18歳や19歳の区民に対し区独自の「初投票記念証書」を作成し、投票率向上を図っている。

今後は、区内大学との連携や千住宿開宿400年ロゴの活用、工夫をしている自治体の例を参考に、SNS等で話題に上がるような若年層向けの「初投票記念証書」を調査、研究していく。



都民ファースト・無所属の会

安全・共生・健康でつなぐ

誰もが暮らしやすい足立へ

都民ファースト 無所属 佐藤 あい 議員



自転車の正しい運転を促すために

【問】区内における令和5年中の交通事故件数の内、自転車による交通事故の割合が最も高い。特に交差点での自転車による正しい横断方法が十分に浸透していないため、自転車ナビラインの表示を推進すべきではないか。

【都市建設】令和6年度策定の足立区自転車活用推進計画に基づき、警視庁と協議の上、自転車専用通行帯の整備と併せて自転車ナビラインを設置していく。

未来を想像できる情報の提供を

【問】不登校児童・生徒の保護者から、担当の相談員等によって情報提供に差があるという声がある。多様な学び方や進路情報を均質化し、保護者が将来を見通すことができる支援体制を構築すべきではないか。

【教育指導】関係機関との連携強化に加え、研修等による担当者間の情報共有に努め、保護者が将来を見通すことができる情報を提供できるように、支援体制



縁の広がりを感じられる施設へ

【問】梅田八丁目複合施設は、多様な人の活動拠点として縁が広がる施設となるよう、子育てサロン、図書館、NPO活動支援センターが自然に連携しやすい設計と共に運営体制構築をすべきではないか。

また、障がい者団体や地域活動団体等の意見を取り入れる機会を設けてはどうか。

【地域】基本設計案では、子育てサロン、キッズライブラリー、NPO活動支援センターを1階へ配置しており、機能間の連携が生まれるよう、建物内の壁や仕切りを極力減らす設計や、一体的な運営手法を検討していく。

また、障がい者団体や地域活動団体から受けた意見を施設設計に反映できるように進めていく。

足立区議会議会改革を全力で押し進める会

中央本町の街づくりを前へ

子どもの成長を支える支援を

議会改革推進 土屋 のりこ 議員



子育てしやすい地域とするために

【問】中央本町には、にぎわい施設や子育てサロンはなく、公園の一部は老朽化している等、課題が山積しており、生活者を中心とする街の在り方の検討が必要であると考えます。

新たな住民も交えて地域コミュニティを育成すると共に、街の魅力や利便性の向上が求められるが、区長の認識を伺う。

【区長】新たな住民を交えた地域コミュニティの育成や住民の視点を立ったまちづくりは、非常に重要であると考えている。中央本町は区内の一般的な地域と比較して、商業施設や交通手段等は整っている認識である。子育ての拠点となるサロンや公園の整備は充実していないとの指摘があるため、担当所管と方向性について検討し、地域住民の要望に応えられるまちづくりを展開したいと考えている。

誰も置き去りにしない経済対策を

【問】キャッシュレス決済還元事業について、一部の高齢者から「キャッシュレス決済は使えないし蚊帳の外だ」との声がある。高齢者向けの物価高騰対策として、食材の購入に使用できる紙のクーポンや商品券等を配布すべきではないか。

【産業経済】紙のクーポンや商品券の配布はしないが、高齢者



海外への窓口となる施設整備を

【問】ベルモント公園・陳列館について、「英語でサンタクロースと遊ぼう」や「イングリッシュ・リトミック」等、乳幼児から高校生まで世界と触れ合うことができる体験・経験を行える施設へと改修してはどうか。

【道路公園】令和9年度に予定の大規模改修にあたって、まずは活用の在り方を観光交流協会と協議し、現状より充実した活用ができるよう進めていく。

第4回定例会での議決結果

区長提出議案

可決したもの

補正予算

令和6年度足立区一般会計補正予算(第4号)
補正額 12億4千839万2千円
予算総額 3千480億

令和6年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
補正額△1億8千841万4千円
予算総額 726億6千179万8千円

令和6年度足立区介護保険特別会計補正予算(第2号)
補正額△6千60万4千円
予算総額 708億7千415万7千円

令和6年度足立区一般会計補正予算(第5号)
補正額 36億3千811万7千円
予算総額 3千516億

条例

足立区個人情報番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

足立区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

子育て部分休暇の新設に関する条例の一部を改正する条例

足立区災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律の厚生労働省関係規定の施行等に関する政令の改正に伴うもののほか、所要の規定を整備するもの

建築基準法の改正に伴い、規定を整備するもの

東洲江小学校の位置を変更するもの

職員の一部を改正する条例

職員の一部を改正する条例

職員の一部を改正する条例

職員の一部を改正する条例

職員の一部を改正する条例

部を改正する条例

栗島学童保育室及び古千谷学童保育室を設置するもの

権利の放棄について

図書館システムで管理している未返却図書資料に関する返還請求権を放棄するもの

足立区こども未来創造館の指定管理者の指定について

足立区西新井文化ホールの指定管理者の指定について

子育てサロン西新井の指定管理者の指定について

足立区関原の森・愛恵まじゅくり記念館の指定管理者の指定について

足立区まちづくり工房館の指定管理者の指定について

足立区立学童保育室の指定管理者の指定について

その他の議案

相手方 株式会社OKAPEN

花畑川環境整備その1散策路工事請負契約

相手方 株式会社東京三田組

高野小学校跡地スポーツ施設新築工事請負契約

相手方 株式会社似鳥工務店

足立区管住宅等維持管理業務委託について

相手方 株式会社東急コミュニケーション

訴えの提起について

児童扶養手当過払金を返還しない相手方に対し、未償還金、遅延損害金及び訴訟費用を請求するもの

議決を得た契約の変更について

に議決し、関係機関に意見書を提出しました。意見書の全文は、次のとおりです。

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続及び制度の恒久化を求める意見書

内閣府は令和6年11月の月例経済報告において、先行きについては、「物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある」として

おり、小規模事業者を取り巻く環境も依然として厳しい状況にある。

こうした中、東京都が継続実施している「小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置」「小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の減免措置」及び「商業地等に対する固定資産税・都市計画税の負担水準の上限引下げ措置」は、区民の過重な税負担を緩和し、厳しい経営環境にある小規模事業者にとっても、経営回復や事業継続への大きな支えとなっている。

先の見えない物価上昇や極端な円安、株価の急激な乱高下、海外景気の下振れ等が区内小規模事業者の企業経営や区民生活に大きな影響を及ぼしている中、東京都がこれらの軽減措置を廃止すれば、地域経済の回復に大きな影響を及ぼすことが強く危惧される。

よって、足立区議会は東京都に対し、令和7年度以降も下記事項を継続実施するとともに、制度を恒久化するよう強く求めるものである。

記

1 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置

2 小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税を2割減額する減免措置

3 商業地等における固定資産税・都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。(東京都知事あて)

聞こえの支援を必要とする人への積極的な支援を求める意見書

現在、急速な高齢化に比例し、難聴者も急増している。難聴は認知症の危険因子の一つと言われており、人や社会とのコミュニケーションを避けるようになることから、社会的孤立に陥る可能性も懸念されている。

聞こえを補う医療機器である補聴器は、「気導補聴器」と「骨導補聴器」が一般的に使用されてきたが、「軟骨伝導」等の新しい技術を用いた補聴器が開発され、従来の補聴器では十分な補聴効果が得られない人や、装用そのものが難しい人に対しての新たな選択肢となった。

しかし、聞こえの支援を必要とする人に、自身の状態に合う補聴器の情報や各自治体による購入補助制度が十分に伝わっていないことが多く、社会参画を妨げる一因となっている。

今後の更なる高齢化を見据

えた認知症の予防と共に、高齢者の積極的な社会参画を実現するために、補聴器だけではなくヒアリングループや音声認識ソフト等も含めた聴覚補助機器の積極的な活用を促進する必要がある。

よって、足立区議会は国会及び政府に対して、下記の事項について積極的に取り組みをを求めるものである。

記

1 難聴に悩む人が、医師や専門家の助言のもとで、自分に合った補聴器を選択することができる環境を整えること。

2 行政機関の窓口等へ聴覚補助機器を配備するよう推進すること。

3 地域の社会福祉協議会や福祉施設との連携のもと、聞こえの支援を必要とする人への情報提供の機会創出等、聴覚補助機器を普及させるための環境を整えること。

4 地方自治体を取り組む聞こえの支援に対して、財政的な支援等を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、共生社会担当大臣あて)

採択したもの

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願

議員提出議案

可決したもの

いづれも、令和6年12月20日

意見の分かれた議案(29件中11件)

※自民…足立区議会自由民主党 公明…足立区議会公明党 共産…日本共産党足立区議団 是非…是々非々の会(維新・参政・無所属) 都ファ…都民ファースト・無所属の会 改革…足立区議会改革を全力で推し進める会 無派…無会派 ※○…賛成 ×…反対

その他の議案(18件)は全会一致で可決されました。

Table with columns for bill names and 29 council members. Rows include bills on personal ID numbers, libraries, cultural halls, childcare, post offices, fees, kindergartens, staff salaries, and budgets.

議員研修会を行いました

令和6年12月9日に全議員を対象とした、議員活動における入札・契約に関する不正行為の判例・実例解説及びハラスメント防止に関する議員研修会を開催しました。

今後も、議員一人ひとりが不正に対する認識やハラスメントに対する理解をより一層深めていきます。



命を守るためにAEDを設置

足立区議会に訪れる方の命を守るために、新たにAED(自動体外式除細動器)を設置しました。

講習会では、AEDの基礎知識や使用法、AEDを用いた心肺蘇生法の手順等を学びました。

急病人が発生した際、その場に居合わせた人によって速やかに応急手当が実施されることで、目の前の人を助けることができる可能性が高くなります。

足立区議会は区民の安全を守るため、緊急事態に対応できるよう取り組んでまいります。



委員会活動

Table showing committee activities with columns for committee name, date, and number of cases. Committees include General Affairs, Districts, Industry/Environment, Welfare, Construction, Education, and Council Operations.

令和6年中の区議会傍聴延べ人数

Summary table for public hearings: 本会議 310人, 委員会 389人, 計 699人.

区議会では、区民の皆さんの生活に関わる様々な問題について活発に議論を展開しています。

ぜひ傍聴へお越しください。

傍聴のご案内▶



令和6年の行政視察受け入れ状況

当区の先進的な事業を調査・研究するため、全国から延べ58議会が視察に訪れました。主な視察状況は下表のとおりです。

Table of administrative observation visits with columns for theme, number of cases, and visiting council names. Themes include food, city promotion, night school, and galaxia.

議会傍聴のバリアフリー化に取り組んでいます

本会議をはじめ、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会はどこでも傍聴ができます。

その1

ヒアリンググループが利用できます

本会議及び委員会の傍聴に際し、ヒアリンググループ（難聴用磁気ループ）をご利用いただけます。利用を希望される方は、傍聴する会議の前日（前日が閉庁日の場合は、直前の開庁日）午後5時までに下記問い合わせ先へご連絡ください。



磁気誘導アンプ



磁気ループ専用受信機

その2

手話通訳者の配置ができます

本会議及び委員会の傍聴に際し、手話通訳者を配置することができます。傍聴する会議の7日前（土曜・日曜・祝日及び年末年始を除く）の午後5時までに下記問い合わせ先へご連絡ください。手話通訳にかかる費用は無料です。



その3

車いすのまま傍聴ができます

本会議場及び委員会室の傍聴席に車いすに対応したスペースを用意しております。また、介助犬や盲導犬、聴導犬を同伴して傍聴することもできます。



その4

お子様と一緒に傍聴ができます

子どもの保育や授乳・搾乳を行えるよう、議会棟内の1室を託児室として活用し、本会議はテレビモニターによる視聴、各委員会は音声を聴くことができます。



問い合わせ先 議事係 ☎03(3880)5797

足立区議会議員写真部 作品展を開催!



令和6年12月10日から17日まで、本庁舎中央館1階アトリウムにおいて、足立区議会議員写真部作品展を開催し、各部員の洗練された選りすぐりの作品が展示されました。

足立区議会では、議員等による写真部を結成し、活発に活動を行っています。



区議会からのお知らせ

令和6年11月20日付で異動がありました
野沢てつや議員（是々非々の会(維新・参政・無所属)）→(無会派)

声の区議会だよりをはじめます



より多くの区民へ区議会の活動を知っていただくために、視覚障がい者向けの「声の区議会だより」を作成します。区議会だよりを音訳し、録音されたデジ版CDを、希望する区内在住の視覚障がい者に無料で郵送いたします。また、区議会ホームページから音声データを聴くことができます。

■開始時期

令和7年4月25日号から

■希望する方へ

現在「声の広報(あだち広報)」デジ版CDが届いている方は改めての申請は必要なく、令和7年4月25日号よりお届けする予定です。不要な場合は区議会事務局までご連絡ください。

上記以外の方で、「声の区議会だより」デジ版CDをご希望の方は区議会事務局までご連絡ください。

問い合わせ先 調査係 ☎03(3880)5996

<p>無会派 TEL 03(3880)5093 野沢 てつや</p>	<p>無会派 TEL 03(3880)5092 高橋 まゆみ</p>	<p>無会派 TEL 03(3880)6583 市川 おさと</p>	<p>◎土屋 のりこ ○長谷川 たかこ 足立区議会議員改革を 全力で推し進める会 TEL 03(3880)6559</p>	<p>◎中島 こういちろう ○川村 みこと ◎佐藤 あい 都民ファースト・無所属の会 TEL 03(3880)5123</p>	<p>◎富田 けんたろう おぐら 修平 ◎へんみ 圭二 加地 まさなお 是々非々の会 (維新・参政・無所属) TEL 03(3880)5091</p>	<p>◎ぬかが 直昭 吉田 こうじ ◎はたの 昭和 小田 智恵子 ◎山 昭彦 小林 ゆう ◎中 ちえ子 西の原 ゆま 日本共産党足立区議団 TEL 03(3880)5770</p>	<p>◎たがた 直昭 吉田 こうじ ◎小泉 ひろし さの 智恵子 ◎長井 まさのり 大竹 さよこ ◎佐々木 ささひこ 石毛 かずあき ◎くぼた 美幸 水野 あゆみ ◎いいくら 昭二 岡野 せい ◎安 たかし 太田 せい 足立区議会公明党 TEL 03(3880)5765</p>	<p>◎吉岡 正輝 伊藤 のぶゆき ◎鹿浜 茂昭 長瀬 興祐 ◎かねだ 正一 杉本 ゆう ◎しづや 竜 岡 将和 ◎渡辺 ひであき 田 将和 ◎工藤 てつや 藤 和</p> <p>足立区議会自由民主党 TEL 03(3880)5760</p>	<p>会派等一覧(令和7年1月1日現在) ◎相談役/◎団長/◎副団長 ◎幹事長/◎副幹事長</p>
--	--	--	---	---	---	--	---	---	---